

### 3・4号機サービス建屋内管理区域からの空気の流出について

#### <概要>

##### (事象の発生状況)

- ・ サービス建屋の空気を排気するダクトに穴が開いており、放射線を管理する区域内の空気が建屋外に漏れ出ている可能性があることを確認しました。

##### (対応)

- ・ 開いていた穴は風量測定用の穴であり、当て板により閉止しました。
- ・ 建屋内の類似のダクトについて点検を行います。

##### (安全性、外部への影響)

- ・ 調査の結果、排気ダクトの穴の周辺には、放射性物質は確認されませんでした。
- ・ 本事象による外部への放射能の影響はありません。

##### (公表区分)

- ・ 本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

#### 1. 事象の発生状況

平成 21 年 6 月 29 日午後 2 時 30 分頃、3・4号機サービス建屋<sup>\*1</sup>の換気空調系排気設備の点検において、管理区域<sup>\*2</sup>内にある排気ダクトに直径 1 cm 程度の穴が開いていることを当社監理員と協力企業作業員が発見しました。

当該ダクトはサービス建屋内の洗面所や食堂（非管理区域）の空気を排気しておりますが、当該ダクトの一部が管理区域を貫通しており、穴から吸い込まれた管理区域の空気が建屋外に漏れ出ている可能性があることを確認しました。

#### 2. 対応

開いていた穴は風量測定用の穴であることがわかり、当て板により閉止しました。

屋外空調ダクトについては既に点検を実施しておりますが、今後、建屋内の類似のダクトについて、計画的に点検を行います。

#### 3. 安全性、外部への影響

調査の結果、管理区域内の空気や当該ダクトの穴の周辺には放射性物質は確認されず、建屋外への放射性物質の放出はなかったものと評価しております。

また、空間線量率を測定するために発電所敷地周辺に設置されているモニタリングポストの値は、通常の変動の範囲内であることから、外部への放射能の影響はなかったものと評価しております。

以上

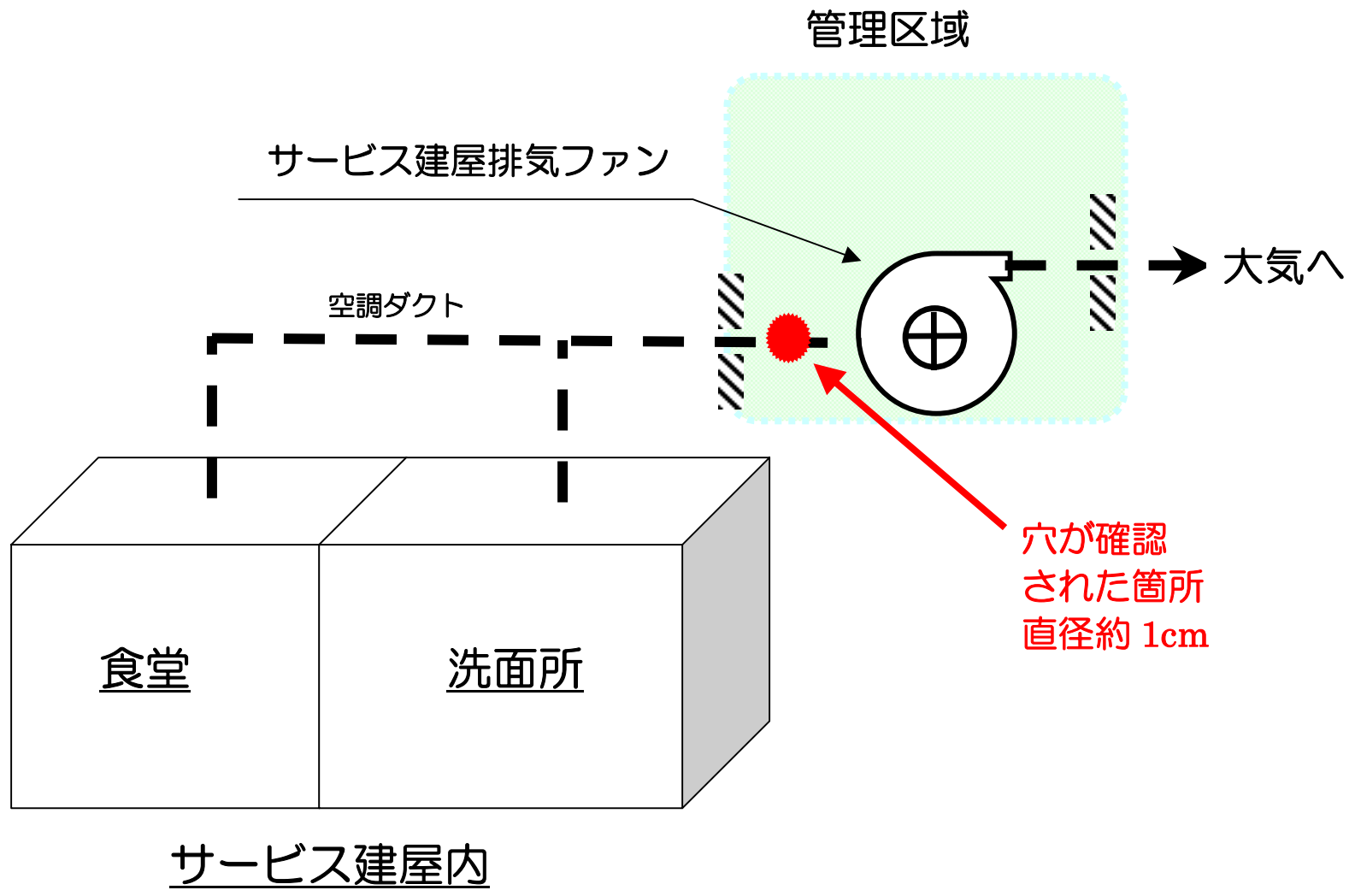
#### \* 1 サービス建屋

中央制御室や原子炉等を設置している区域への人の出入りをチェックする建屋。

#### \* 2 管理区域

放射線による無用な被ばくを防止するため、また、放射性物質による放射能汚染の拡大防止をはかるために管理を必要とする区域。

# サービス建屋排気ダクト概略図



4

